

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	ホームレス自立支援事業			
事業担当	福祉部 福祉総務課			
事業種類	○ハード ●ソフト			
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち		
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して生活を支援する		
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する		
根拠法令等	ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法			
対象・受益者	自立の意思のあるホームレス、要支援者	事業期間		
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 平塚済生会病院】			
目的・目標		事業の概要		
ホームレス状態に置かれている人々が、地域社会の一員として再出発し、健康で文化的な生活を送っています。		ホームレスの人が、自立した、健康で文化的な生活を送ることができるようにするため、生活に関する相談や、保健及び医療の確保等の支援をします。また、今後の自立支援の推進のための体制づくりに向けた調査研究・検討を行います。		

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	巡回相談実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	24	24	24	24		
	実績	23	24	24			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	脱ホームレス数				単位	人
	説明・算定式	ホームレス状態から脱し、安定した居住の場を確保した人数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	25	25	25	25		
	実績	26	29	15			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、ホームレス巡回相談を24回（月2回）実施しました。また、ホームレス自立支援検討部会を2回、ホームレス自立支援推進会議、平塚市内のホームレスが起居する施設管理者との情報交換会を各1回、またホームレス支援団体との意見交換会を1回開催しました。その結果、生活保護の支援につながる等、ホームレス状態から脱した人が15人となりました。							
平成24年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県内市町村で横浜市、川崎市に次いで、3番目にホームレスの人が多い自治体として、法、基本方針等に基づき事業を推進する必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	法、基本方針等を踏まえつつ、それぞれのホームレスの人の状況に応じて、支援すべき内容、支援方法等有効性のある事業を実施します。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法、基本方針等を踏まえつつ、それぞれのホームレスの人の状況に応じて、支援すべき内容、支援方法等により事業を実施していることから、妥当性は高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	巡回相談等でそれぞれの状況に即した支援をする必要があるため、効率性の観点からは事業の改善が難しいところです。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b>				
庁内外の既存組織、仕組みの中では、相互理解や情報共有を図ることが難しいため、包括的な自立支援につながるような連携体制を構築できるよう体制整備を行う必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施	巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施	巡回相談の開催、全国調査の実施、自立支援推進協議会の設置調査研究	巡回相談の開催、全国調査の実施、自立支援推進協議会の設置準備
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	858	1,028	862	877
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		858	1,028	862	877
執行率 (%)		96.51	100.00	97.62	
内訳	職員 (人)	3.35	3.35	1.03	0.96
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		27,668	27,149	8,256	7,631
フルコスト (A+B)		28,526	28,177	9,118	8,508

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b>
これまでの取組みにより、ホームレス数は最も多いときの半数近くまで減ってきています。今後は、既存の庁内組織、関係機関、関係団体が情報や課題を共有し、連携を図りながらホームレス自立支援策を推進できるよう体制整備を進めます。
<b>課長コメント</b>
「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、関係機関、民間団体等との連携を図りながら、ホームレスの人それぞれの状況に応じた自立支援を実施します。